

Моя жизнь во Владивостоке

情報文化学科 2年 田部美加子

私たちは2014年8月27日から12月23日までの約4か月間、ウラジオストク国立経済サービス大学でロシア語を学んできました。今年度は例年よりもかなり多い18人という人数で留学してきました。

今年度は人数が多かったため、1限目の音楽、美術、地理、歴史以外は3つのクラスに分かれて授業を受けました。ロシア語の授業は、日常会話、文法、リスニング、リーディングと科目が分かれていました。初めの頃はわからない単語も多く、先生の話を理解できず、とても苦労しました。知らない単語をひたすら辞書で引くだけで精一杯になっていましたが、だんだんと授業の理解度も増して、1か月半くらいで先生の話は大体理解できるようになり、成長を感じました。授業の内容は主に先生や生徒同士でコミュニケーションをとったりしながら進んでいくので、とても楽しかったです。科目ごとにほぼ毎日宿題がでていましたが、毎日勉強する習慣が身に付いたし、それほど苦に感じませんでした。

ロシアでできた友達とは散歩をしたり、スケートをしたり、ボーリングをしたり、カフェでおしゃべりをしたりしました。9月の下旬に交流会があり、初めてロシア人の友達が出てきてとても嬉しかったです。ロシア人の女の子はとても大人っぽくて、初めは年下だと信じられませんでした。私が知り合ったロシア人の女の子たちは、みんなとても優しく面白くて、一緒に過ごす時間はとても楽しかったです。

私は週末になるとバスを利用してよく中心部に遊びに行っていました。ウラジオストクのバスはどこで降りても均一の18ルーブル(40円程度)なのでわかりやすいです。私は買い物好きなので、様々なお店を回って、おしゃれな服や、雑貨などを見るのもとても楽しかったです。食べ物に関しては、どの料理も美味しかったです。メニューを見て、辞書を引きながら、どんな料理かを想像するのも楽しかったです。

イベントとしては、コンサート、遠足、水族館、博物館、帆船の見学などに行きました。私達も音楽の授業で習った歌と ложки(スプーンを2つ合わせて叩く楽器)を使ってコンサートに出ました。私は歌詞を覚えるのがとにかく大変でした。それでも、歌詞の意味を調べ、工夫しながら覚えるのは結構楽しかったです。

初めの頃は、慣れない生活環境に戸惑っていましたが、留学後半になるにつれてもっと居たい、帰りたくないという思いが強くなりました。留学を決めてからは、4か月間本当にやっていたのかと不安ばかりでしたが、今は本当に行きよかったですと感じています。これから先、この留学で得た貴重な経験を色々な人に伝えていきたいと思っています。